

# 福山・笠岡地域公共交通再編実施計画

～ 骨子 ～

2019年1月

福山市・笠岡市

# 第1章 再編実施計画の目的と対象

## 1.1 計画策定の目的

地域間交流が深く、日常生活圏を同じくする福山市及び笠岡市では、2017年3月に、「誰もが移動しやすく、人の交流が活発になる地域公共交通の実現」を地域公共交通の目指すべき将来像（地域公共交通ビジョン）に掲げる「福山・笠岡地域公共交通網形成計画（以下、網形成計画を称す。）」を策定した。

「福山・笠岡地域公共再編実施計画（以下、再編実施計画と称す。）」は、網形成計画の地域公共交通ビジョンに基づき、計画事業「持続可能な地域公共交通ネットワークの構築」を図るために、関係事業者の同意のもとに、具体的なバス路線等の再編事業の内容を定めた計画である。

## 1.2 再編実施計画の対象

### (1) 計画に係る区域

計画の対象区域	再編事業に関連して実施する事業を踏まえて、福山市、笠岡市より構成される福山・笠岡地域とする。
再編事業の実施区域	福山・笠岡地域のうち、離島部を除いた下図の区域とする。 

### (2) 計画対象とする事業

再編実施計画の対象事業は路線バス、乗合タクシー、自家用有償旅客運送であり、広域的な交通を担う鉄道、高速バス、航路は除外する。

## 1.3 再編実施計画の期間

### (1) 計画対象期間

再編実施計画の対象期間は、2019年10月1日～2023年3月31日とする。

### (2) 計画の見直し

本計画は、網形成計画の基本方針に基づき、地域公共交通の再編を着実に推進することが目的である。ここで、網形成計画では、利用者の需要に応じて持続可能な運行方法に見直すことを基本方針に掲げており、公共交通サービスの事業環境が急変する昨今においては、計画区域内の動向を十分に検証し、運行内容等においても柔軟に対応することが必要である。

以上より、本計画では、2019年度、2020年度における状況等を検証した上で、変更が必要と判断される場合において、2021年10月に本再編実施計画を変更する。

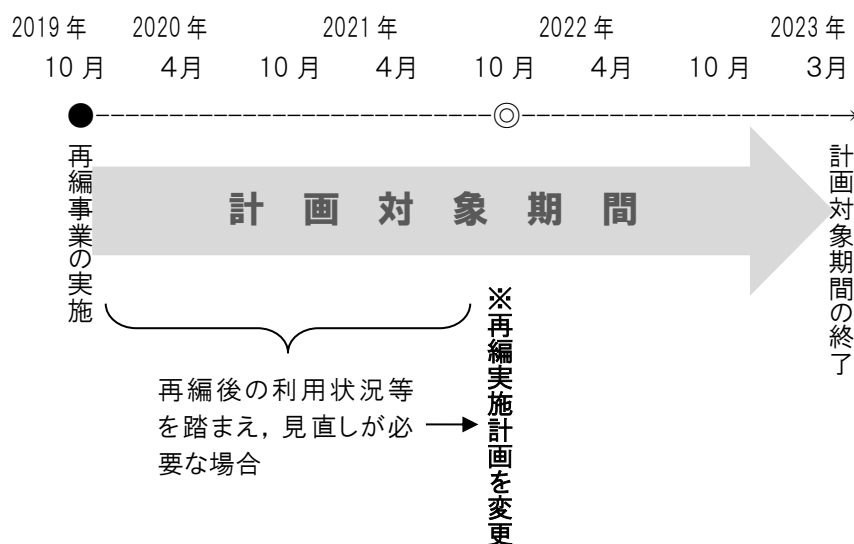


図 計画対象期間と計画変更の時期

## 第2章 路線バス等再編に向けた基本的な考え方

### 2.1 地域公共交通ビジョン

福山市・笠岡市は、将来に向けて市民の暮らしを支えられる持続可能な公共交通網の構築を目指して、「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」を2017年3月に策定した。（計画期間：2017年度～2022年度）

福山・笠岡地域における路線バス等の再編は、当計画における考え方に準じて、下記の地域公共交通ビジョン実現を目指すものである。

～ 福山・笠岡地域公共交通網形成計画 「地域公共交通ビジョン」 ～

**誰もが移動しやすく、人の交流が活発になる地域公共交通の実現**

### 2.2 再編のコンセプト

立地適正化計画の策定を進めている福山市、笠岡市では、居住や都市機能の誘導によるコンパクトなまちづくりを推進している。一方で、地域周辺部では人口減少や高齢化の急進など、人口構造の変化への対応がまちづくりの大きな課題となっている。

こうした中、路線バス等の再編では、市民、事業者、行政などが協働で、両市で推進するまちづくりと地域公共交通網形成の連携を図るとともに、高齢者を含む市民の移動円滑化、外出行動の促進を目指して公共交通の利便性向上を図り、また事業環境が厳しさを増す中で、維持が困難と判断できる非効率な路線バス等を戦略的に持続可能な運行サービスへと見直すことが求められる。

以上を踏まえ、再編のコンセプト（根幹をなす考え）を、以下に示す。

－ 福山・笠岡地域における再編のコンセプト －

#### ① まちづくりと連携した地域公共交通網形成の推進

◆ 豊かな市民生活を支える利用しやすい地域公共交通網の構築

◆ 需要に応じた効率的かつ持続可能な地域公共交通網の構築

#### ② 市民、事業者、行政などの協働による地域公共交通づくりの推進

## ① まちづくりと連携した地域公共交通網形成の推進

### ◆豊かな市民生活を支える利用しやすい地域公共交通網の構築

- 市街地などにおける日常生活の移動を支援するため、地域公共交通の利便性を高める施策を推進
- 地域周辺部における高齢者等の外出行動を支援するための施策を推進
- 再編等と関連し、地域公共交通の利用の促進に資する施策を推進

### ◆需要に応じた効率的かつ持続可能な地域公共交通網の構築

- 非効率なバス路線等を、地域の需要に応じたサービス内容に見直すなど、地域の公共交通サービスを持続可能にするための施策を推進

## ② 市民、事業者、行政などの協働による地域公共交通づくりの推進

- 市民、事業者、行政などの主体がそれぞれの役割を果し、連携・協働により地域公共交通づくり（維持，確保，活性化）を推進

図 再編コンセプトと取組イメージ

## 2.3 立地適正化計画と整合するネットワーク形成

福山市、笠岡市では、居住や都市機能の誘導によるコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進するため、立地適正化計画の策定に取り組んでいる。

うち福山市では、2017年3月に「福山市立地適正化計画基本方針」を定めるとともに、2018年6月に立地適正化計画策定に係る「地域別カルテ」をとりまとめ、都市機能誘導区域（設定イメージ）を明示している。

また笠岡市では、2018年9月に「笠岡市立地適正化計画策定委員会」を立ち上げ、12月までに2回委員会を開催し、都市機能誘導区域及び都市機能誘導施設の設定に向けた協議を行っている。

これら立地適正化計画及び関連計画の考え方や方針に基づき、福山・笠岡地域においてコンパクトシティの実現を目指すためには、都市機能誘導区域の活力・求心力を高めるとともに、これらをつなぐネットワーク（公共交通網）の確立を図ることが必須である。

そのため、再編実施計画では、立地適正化計画と整合する交通軸を設定した上で、バス路線等の機能を明示する。



図 福山・笠岡地域における交通軸と拠点

幹線	・主に拠点間連絡，都市間連絡を担う路線バスであり，多くの人流を支える地域の交通軸を担う。
準幹線	・主に中心市街地等の人口集積地域における面的な移動を支える路線バスであり，さらに鉄道や幹線バスを補完して地域間移動をも担う。
支線	・主に拠点，鉄道駅，幹線バス等と，周辺部に位置する居住地・集落とを結ぶ公共交通であり，路線バス，デマンド型乗合タクシー，自家用有償旅客運送など，地域特性に応じて柔軟なモードで運行する。
中心部循環路線	・都市サービスが集積する福山市の中心市街地を循環する，高いサービス水準の路線バス（まわローズ）。

※「再編実施計画」策定までに，路線図を再編後（2019年10月）時点に更新します

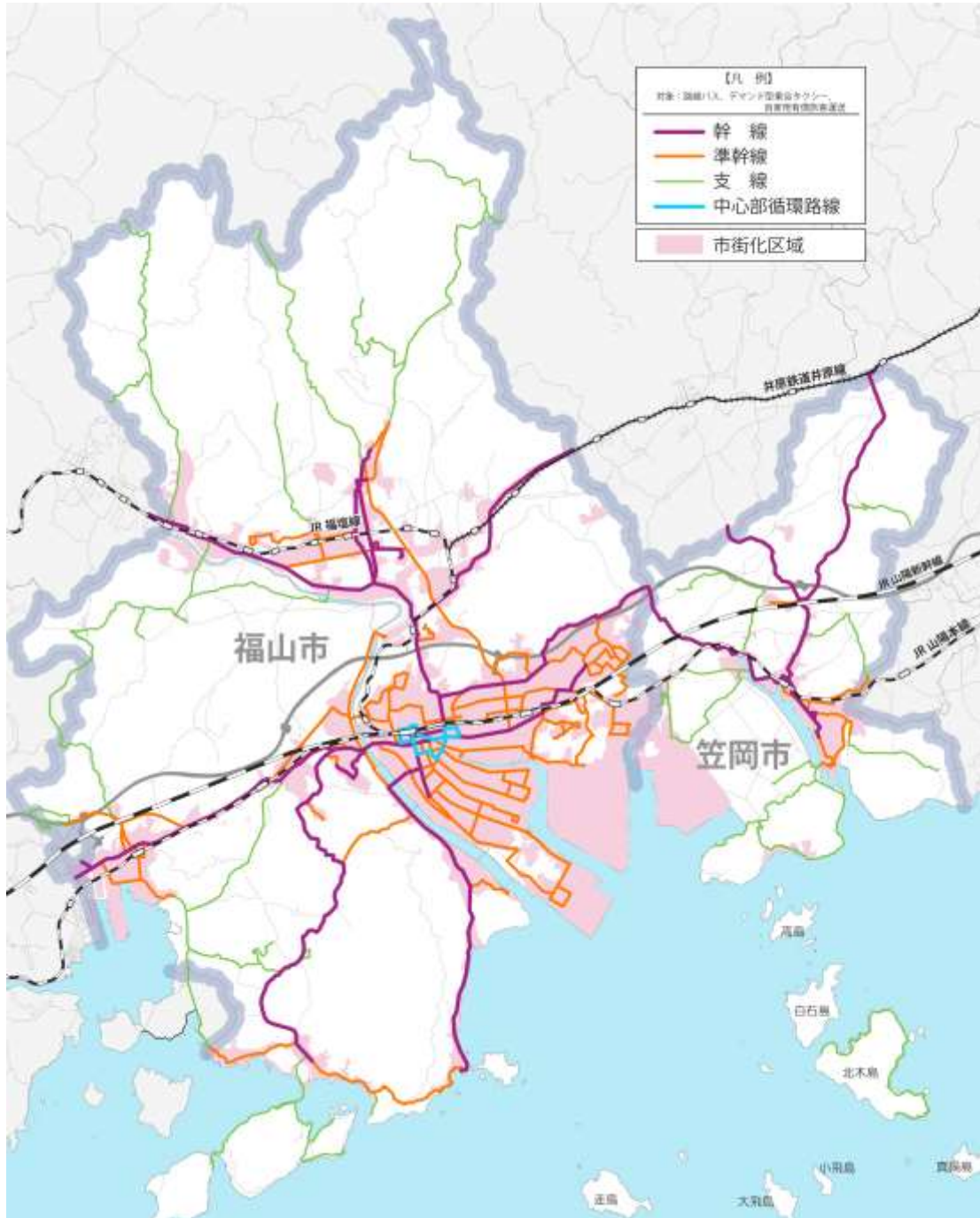


図 バス路線等の機能分類



## 第3章 事業の内容・実施主体

### 3.1 再編事業の全体像

福山・笠岡地域の再編事業は下表のとおりであり、利便性、及び効率性の向上を図るために、新しい路線整備や、系統の統合、分割、モード転換等を行う。

表 地域公共交通再編事業及び事業主体

項目		事業内容	事業主体
福山市西部	新川線の再編	複雑な系統の統合により利便性を高めるとともに、朝夕の一部を除いて系統の分割を行い、運行効率の向上を図る。	鞆鉄道(株)
	郷分線の再編	北側を福山市北部の乗り継ぎ拠点である中国中央病院まで延伸し、利便性の向上を図る。	(株)中国バス
	GSMの活用	小型電動低速車(GSM:グリーンスローモビリティ)の活用による路線の見直しを行い、利便性の向上を図る。	鞆鉄道(株)
福山市北部	服部線のモード転換	経常収益率が低い路線を廃止し、地域住民の生活移動の実態に合わせた乗合タクシーを導入することで、効率化を図る。	福山市・ (運行事業者)
	柞磨線・天満線のモード転換	経常収益率が低い路線を廃止し、地域住民の生活移動の実態に合わせた乗合タクシーを導入することで、効率化を図る。	福山市・ (運行事業者)
	緑陽町への乗合タクシー導入	現状、公共交通が運行しておらず、高齢化の進む高台団地である緑陽町へ乗合タクシーを導入する。	福山市・ (運行事業者)
福山市東部	大門駅へのアクセス性向上	路線を見直し、大門駅北側へのアクセス性の向上させることで、利便性の向上を図る。	(株)中国バス

**※現時点での案であり、今後の調整の中で事業の変更が生じる可能性あり**

※検討中の事業

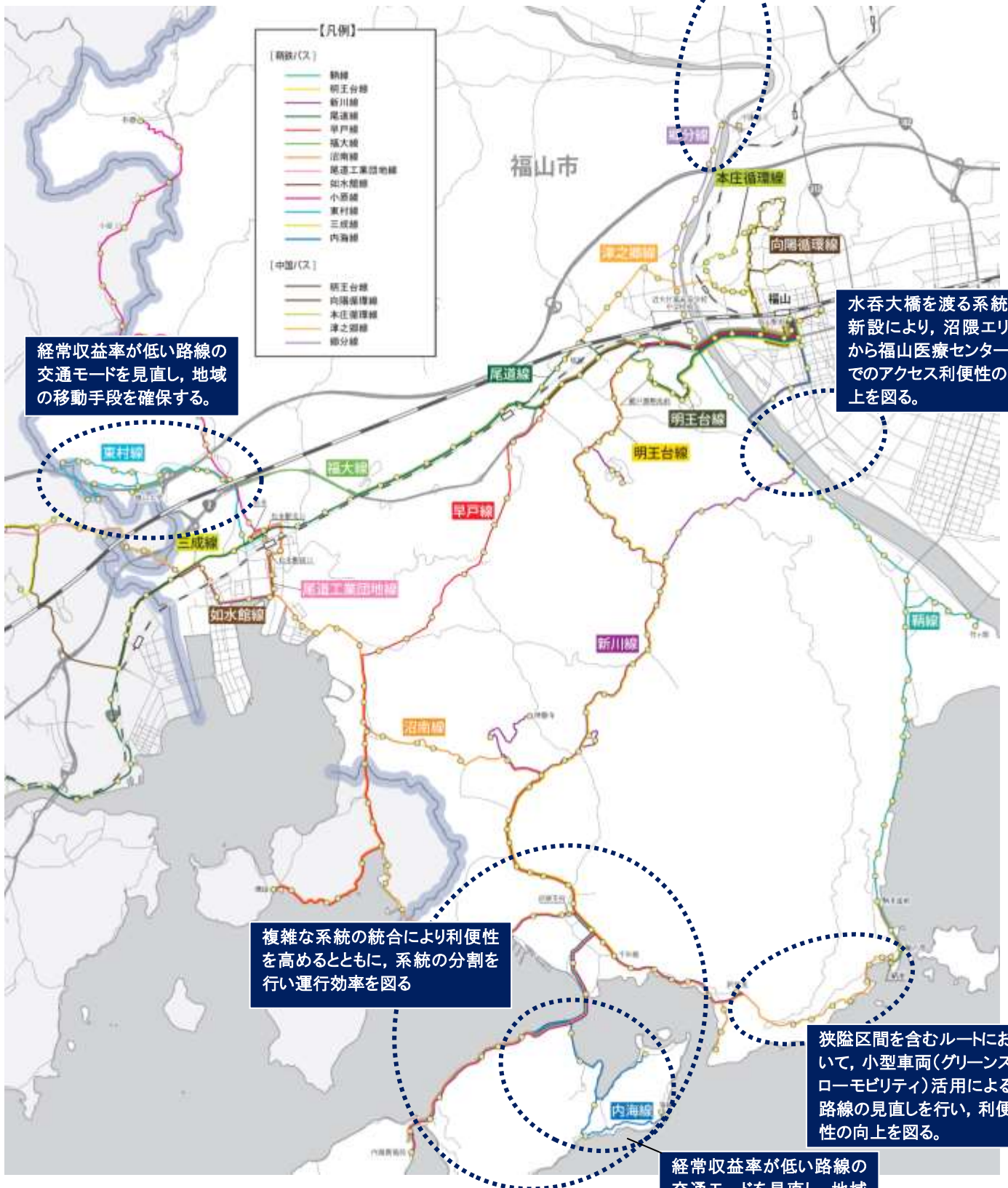
項目		事業内容	事業主体
福山市東部 ・笠岡市	笠岡・福山買物 ライナー(仮称) の新設及び周辺 路線の再編	実証運行を行っている買物ライナー(仮称)の本 格運行, 及び周辺路線の再編を検討する。	(株)井笠バスカ ンパニー
福山市南部	まわローズの再 編	実証実験を行うまわローズの再編について本格 運行を検討する。	(株)中国バス, 鞆 鉄道(株), (株)井 笠バスカンパニ ー
福山市西部	東村線の再編	経常収益率が低い路線の交通モードを見直し, 地 域の移動手段を確保する。	鞆鉄道(株)
	(仮称) 福山市 総合体育館への 系統新設	水呑大橋を渡る系統の新設により, 沼隈エリアか ら福山医療センターまでのアクセス利便性の向上 を図る。	鞆鉄道(株)
	箱崎線の再編	経常収益率が低い路線の交通モードを見直し, 地 域の移動手段を確保する。	鞆鉄道(株)

○再編事業の対象

※「再編実施計画」策定までに、路線図を再編前（2019年9月）時点に更新します

郷分線を福山市北部の乗り継ぎ拠点である中国中央病院まで延伸し、利便性の向上を図る。

福山市西部



経常収益率が低い路線の交通モードを見直し、地域の移動手段を確保する。

水呑大橋を渡る系統の新設により、沼隈エリアから福山医療センターまでのアクセス利便性の向上を図る。

複雑な系統の統合により利便性を高めるとともに、系統の分割を行い運行効率を図る

狭隘区間を含むルートにおいて、小型車両(グリーンローモビリティ)活用による路線の見直しを行い、利便性の向上を図る。

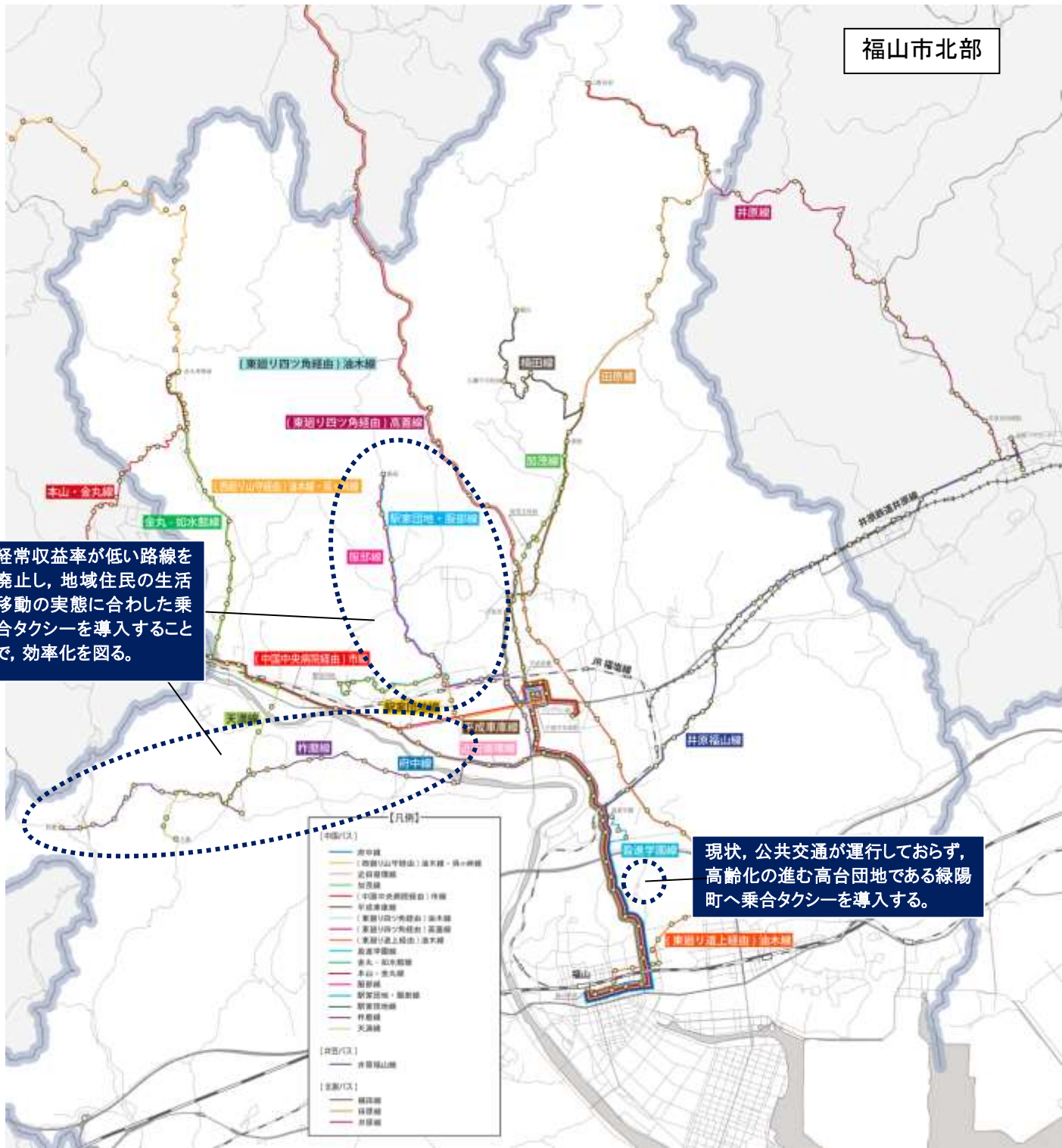
経常収益率が低い路線の交通モードを見直し、地域の移動手段を確保する。

福山市北部

経常収益率が低い路線を廃止し、地域住民の生活移動の実態に合わせた乗合タクシーを導入することで、効率化を図る。

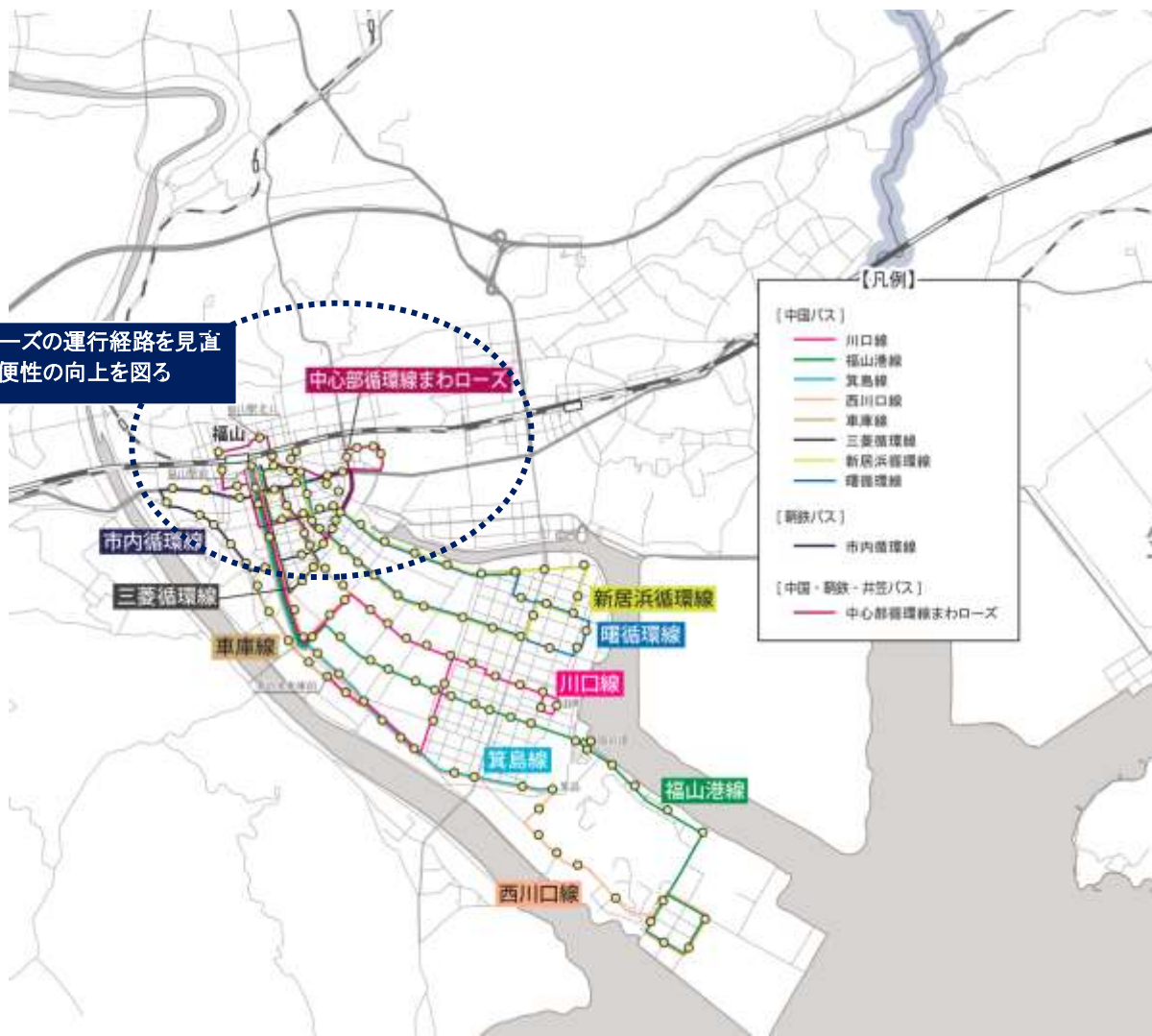
現状、公共交通が運行しておらず、高齢化の進む高台団地である緑陽町へ乗合タクシーを導入する。

- 【凡例】
- 【中継バス】
- 赤中線
  - 【東廻り四ツ角経由】油木線
  - 近自衛隊線
  - 加茂線
  - 【中国中央病院経由】作線
  - 早成東線
  - 【東廻り四ツ角経由】油木線
  - 【東廻り四ツ角経由】高宮線
  - 【東廻り道上経由】油木線
  - 高宮中環線
  - 金丸・知水線
  - 本山・金丸線
  - 加茂線
  - 新築団地・新築線
  - 新築団地
  - 竹原線
  - 元湯線
- 【共同バス】
- 井原福山線
- 【主要バス】
- 福山線
  - 緑陽線
  - 井原線



福山市南部

まわローズの運行経路を見直し、利便性の向上を図る



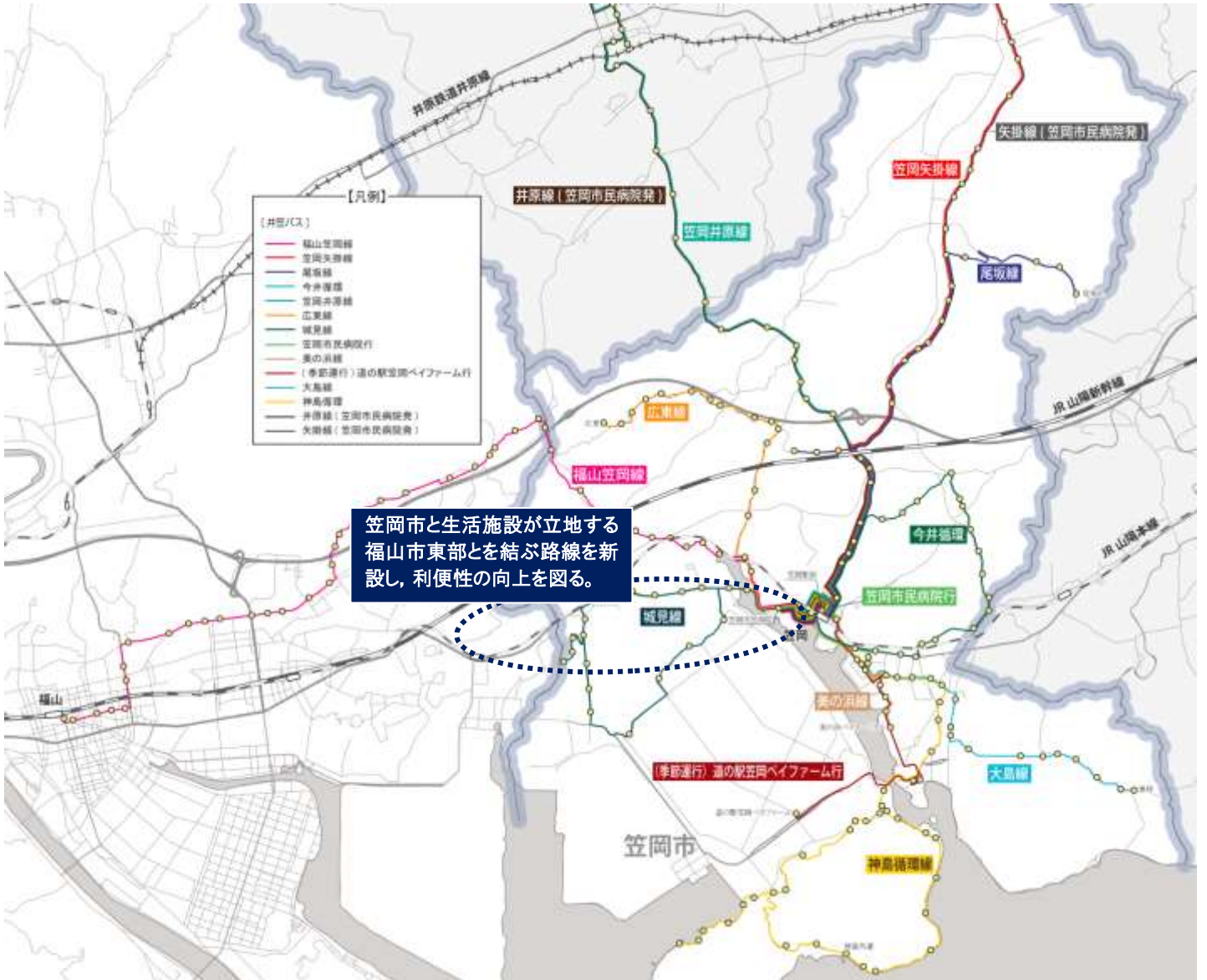
福山市東部

路線を見直し、大門駅のアクセス性の向上を図る。

笠岡市と生活施設が立地する福山市東部とを結ぶ路線を新設し、利便性の向上を図る。



笠岡市



## 3.2 再編事業(2019年10月より)の詳細

### ○再編実施計画に掲載する内容

再編事業（2019年10月より）の詳細について、「路線」毎に掲載する。  
掲載する項目は、以下のとおり。

- 運行・見直しの狙い

- 運行内容

- ◆「路線別」の情報

再編前・後それぞれについて、

- ・事業の種類（例えば、一般乗合旅客自動車運送事業など）
- ・運営主体、運行事業者
- ・運行形態（例えば、路線定期運行など）
- ・運賃体系（例えば、距離制運賃など）。
- ・系統図 など

- ◆「系統別」の情報

再編前・後それぞれについて、

- ・系統番号
- ・起点、主な経由地、終点、キロ程
- ・運行車両
- ・運行日（例えば、毎日など）
- ・運行回数（平日、土曜日、日祝別） など

## 第4章 事業実施に必要な資金の額, 調達方法

### ○再編実施計画に掲載する内容

再編対象の路線の事業費を, 調達主体(事業者, 市など), 内容(運行経費, 補助金など)別の内訳とともに, 一覧表の形式で掲載。

## 第5章 事業の効果

### ○再編実施計画に掲載する内容

再編実施計画に基づく路線の再編の効果を, 路線毎に, 利便性, 効率性の観点から整理して, 一覧表の形式で掲載。

## 第6章 福山市・笠岡市による支援の内容

### ○再編実施計画に掲載する内容

再編実施計画に基づく路線の再編に関連して, 福山市, 笠岡市が支援する内容を掲載。  
例えば, 地域公共交通網の維持・確保に向けた支援, 住民主体路線の導入時における支援, また地域公共交通の利用促進を図るための支援など。

## 第7章 網形成計画に記載された再編事業に関連して実施する事業

### ○再編実施計画に掲載する内容

「福山・笠岡地域公共交通網形成計画(2017年3月)」で定めた事業のうち, 再編実施画に基づく再編に関連して実施する事業について掲載。

例えば, 路線バスの改善, 住民主体路線の導入支援, 交通結節点における乗り継ぎ・待合い環境の改善, 地域公共交通の利用促進施策の推進など。